

関係各位

病害虫防除所長

令和4年度病害虫発生予察技術情報（第2号）の送付について

---

早期稲におけるいもち病の発生について

6月下旬現在、県下の早期稲における葉いもちの発生面積が、県中西部以外で平年よりも多く、県下全域では平年の約2.3倍になっています。特に西部では平年の約3.2倍となっています。また、発病程度は全般的には平年並ですが、上位葉に病斑が見られる中程度の発病株も散見されます（表1）。

葉いもち発生予測システム BLASTAM では、5月第6半旬と6月第2～3半旬を中心に感染好適条件が出現しており、この時期に感染したと推測されます（表2）。

向こう1ヶ月の気象予報では、降水量は少なく、日照時間が多い見込みなので、いもち病の感染リスクは比較的低いと考えられますが、上位葉に病斑が見られるなど、ほ場によっては穂いもちの発生が懸念されます。今後、ほ場での発生状況と気象情報に十分注意して下記の対策を心がけて下さい。

記

「防除対策」

- 1 降雨が予想されるなど、いもち病の発生が懸念される場合には、出穂期前後に高知県病害虫防除指針（高知県農薬情報システム内の配信ファイルの閲覧に掲載、<https://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/haishinfile/list/kochi>）に従って防除を実施し、穂いもちの発生を防いで下さい。必要に応じて追加の防除を実施して下さい。
- 2 薬剤防除を行う場合は、周辺作物への薬剤の飛散に十分に気をつけて下さい。
- 3 QoI 剤（ストロビルリン系殺菌剤）耐性いもち病の発生を防ぐため、これらの剤の使用は作期を通じて1回として下さい。

表1 高知県内の早期稲における6月下旬の葉いもち発生状況

地域	発病程度別発生面積 (ha)				合計	栽培面積 (ha)
	甚	多	中	少		
東部	本年				132.6	652
	平年				12.0	
中央部	本年			83.2	706.9	3,465
	平年		2.0	48.4	393.0	
中西部	本年			1.9	54.4	680
	平年				70.2	
西部	本年			3.5	881.1	1,393
	平年		0.4	6.3	271.9	
県下全域	本年			88.6	1,775.0	6,190
	平年		2.4	54.7	747.1	

表2 葉いもち発生予測システムBLASTAMによる感染好適条件の出現状況

日付	本川	本山	大橋	高知	後免	日章	安芸	梶原	須崎	窪川	室戸岬	江川崎	佐賀	宿毛	中村	清水	日付
5/26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5/26
5/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/27
5/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/28
5/29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5/29
5/30	3	4	-	4	-	-	-	4	4	4	-	-	-	-	●	-	5/30
5/31	1	1	4	●	4	-	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	5/31
6/1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/1
6/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/2
6/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/3
6/4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/4
6/5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/5
6/6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/6
6/7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/7
6/8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/8
6/9	3	4	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/9
6/10	4	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/10
6/11	4	1	●	-	●	●	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/11
6/12	-	1	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	-	6/12
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/13
6/14	1	1	●	●	●	●	1	●	1	-	-	●	●	-	●	-	6/14
6/15	1	1	●	●	●	●	1	●	-	-	-	●	-	-	-	-	6/15
6/16	-	-	-	●	●	●	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	6/16
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	-	6/17
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	6/18
6/19	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	6/19
6/20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	●	6/20
6/21	-	-	●	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	6/21
6/22	●	●	●	-	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-	6/22
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/23
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	?	-	-	-	-	-	-	6/24
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/25
6/26	●	●	-	-	-	-	2	●	-	-	-	-	-	-	-	-	6/26
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6/27

<用語説明>

●	感染好適条件	葉面湿潤時間がいもち病菌の感染に十分な10時間以上を満たしており、湿潤時間中の平均気温が15~25度、かつ前5日間の平均気温が20~25度で、葉いもちの大量感染に好適な条件が出現した場合。
4	準感染好適条件	湿潤時間中の平均気温は15~25度で、湿潤時間がやや不足。
3	準感染好適条件	湿潤時間中の平均気温は15~25度でないが、湿潤時間は条件を満たす。
2	準感染好適条件	前5日間の平均気温は25度を超えているが、湿潤時間は条件を満たす。
1	準感染好適条件	前5日間の平均気温は20度未満だが、湿潤時間は条件を満たす。
準感染好適条件とは、葉面湿潤時間、温度等の条件の一部が不足している場合。これが続いても発病が始まるので、注意が必要。		
?	判定不能	欠測値があったため、判定できなかった場合。
-	感染好適条件なし	